



道内経済の動き

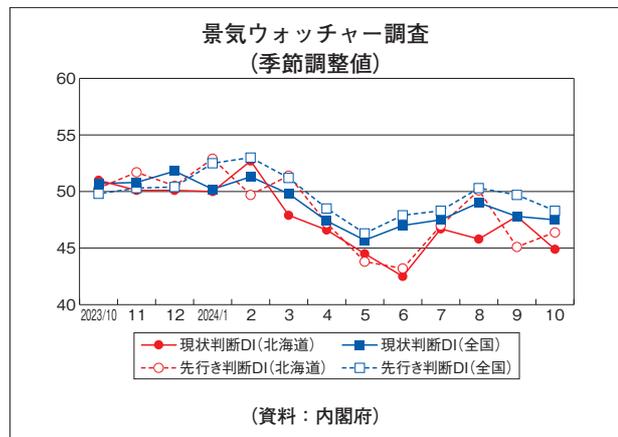
道内景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、弱めの動きとなっている。需要面では、住宅投資は、減少している。個人消費は、持ち直しつつも停滞感がみられる。設備投資は、持ち直しの動きがみられる。観光は、持ち直しの動きが鈍化している。輸出は、持ち直しの動きが続いている。公共投資は、高水準で推移している。

雇用情勢は、有効求人倍率・新規求人数ともに前年を下回り、弱含んでいる。企業倒産は、件数・負債総額ともに前年を上回った。消費者物価は、39か月連続で前年を上回った。

1. 景気の現状判断DI～2か月ぶりに低下

景気ウォッチャー調査による10月の景気の現状判断DI（北海道）は、前月を2.9ポイント下回る44.9と2か月ぶりに低下し、好不況の分かれ目となる50を8か月連続で下回った。

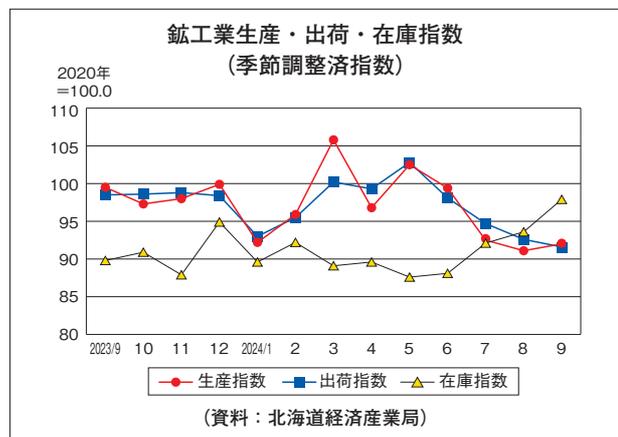
景気の先行き判断DI（北海道）は、前月を1.3ポイント上回る46.4となった。



2. 鉱工業生産～前月比が4か月ぶりに上昇

9月の鉱工業生産指数は、92.0（季節調整済指数、前月比+0.8%）と4か月ぶりに上昇した。前年比（原指数）は▲8.5%と4か月連続で低下した。

業種別では、化学・石油石炭製品工業など5業種が前月比低下となった。窯業・土石製品工業、輸送機械工業、電気機械工業など8業種は前月比上昇した。

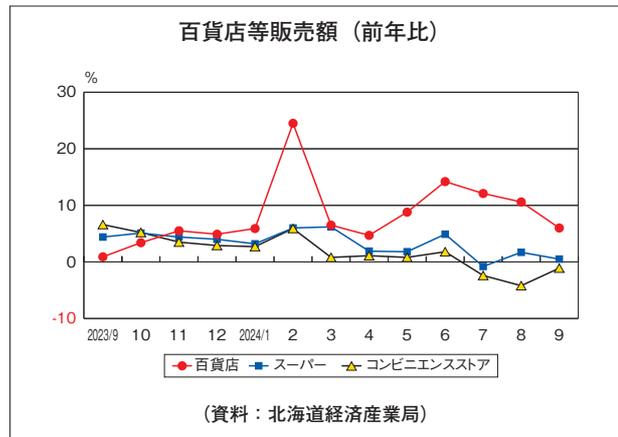


3. 百貨店等販売額～百貨店が31か月連続で増加

9月の百貨店・スーパー販売額（全店ベース、前年比+1.4%）は、31か月連続で前年を上回った。

百貨店（前年比+6.0%）は、衣料品、その他が前年を上回った。スーパー（同+0.5%）は、飲食料品、衣料品、その他が前年を上回った。

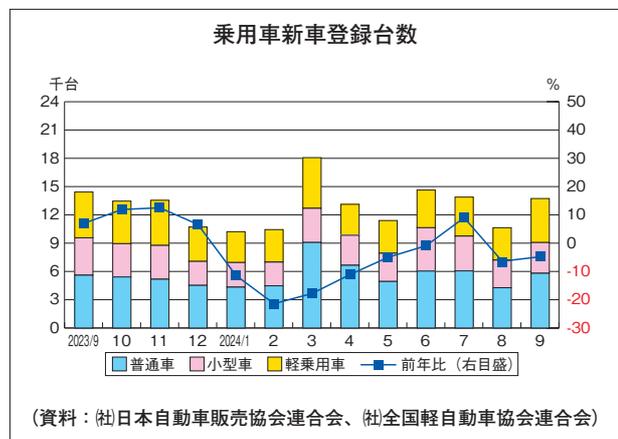
コンビニエンスストア（同▲1.1%）は、3か月連続で前年を下回った。



4. 乗用車新車登録台数～2か月連続で減少

9月の乗用車新車登録台数は、13,734台（前年比▲4.8%）と2か月連続で前年を下回った。車種別では、普通車（同+3.6%）、小型車（同▲17.8%）、軽乗用車（同▲3.9%）となった。

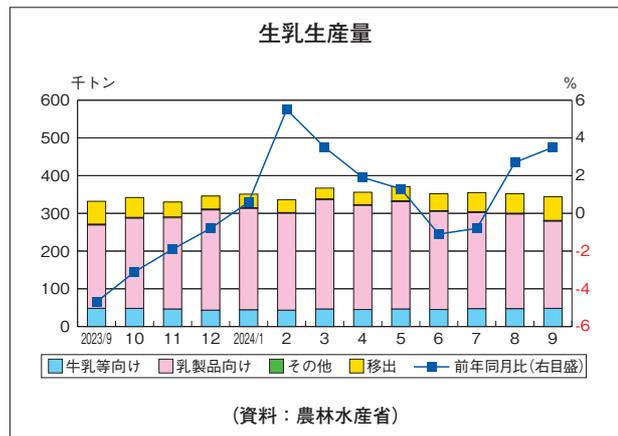
4～9月累計は、77,409台（同▲3.3%）と前年を下回った。内訳は、普通車（同+2.0%）、小型車（同▲8.4%）、軽乗用車（同▲5.8%）となった。



5. 生乳生産量～2か月連続で増加

9月の生乳生産量は、344千トン（前年比+3.5%）と2か月連続で前年を上回った。内訳は、牛乳等向け（同▲0.2%）、乳製品向け（同+4.3%）、その他（同▲6.1%）、道外への移出（同+4.2%）となった。

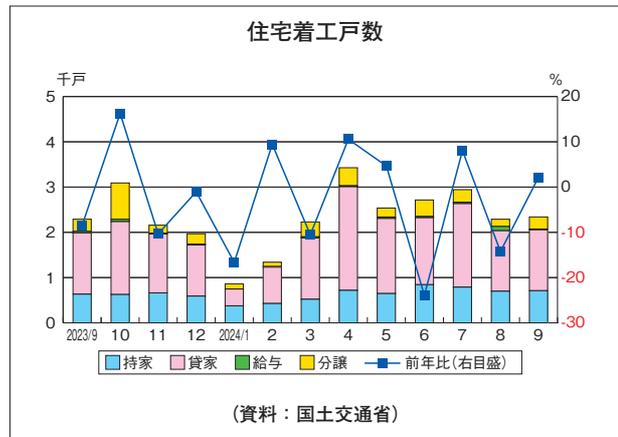
4～9月累計は、2,131千トン（同+1.2%）と前年を上回った。



6. 住宅投資～2か月ぶりに増加

9月の住宅着工戸数は、2,340戸（前年比+2.2%）と2か月ぶりに前年を上回った。利用関係別では、持家（同+12.0%）、貸家（同▲0.6%）、給与（同▲45.5%）、分譲（同▲1.1%）となった。

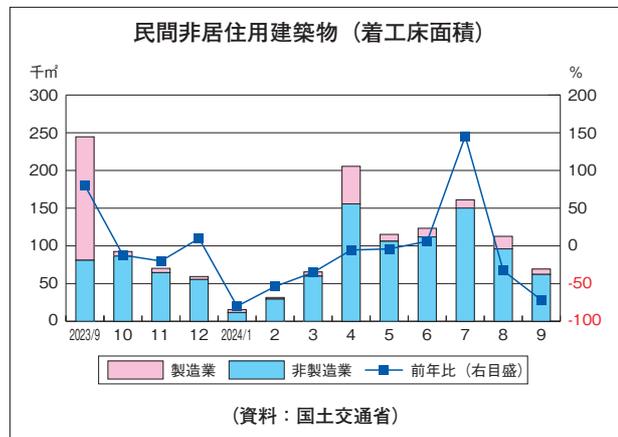
4～9月累計は、16,253戸（同▲3.1%）と前年を下回った。利用関係別では、持家（同▲11.1%）、貸家（同+7.4%）、給与（同▲46.4%）、分譲（同▲21.5%）となった。



7. 建築物着工床面積～2か月連続で減少

9月の民間非居住用建築物着工床面積は、69,316㎡（前年比▲71.7%）と2か月連続で前年を下回った。業種別では、製造業（同▲95.6%）、非製造業（同▲23.2%）であった。

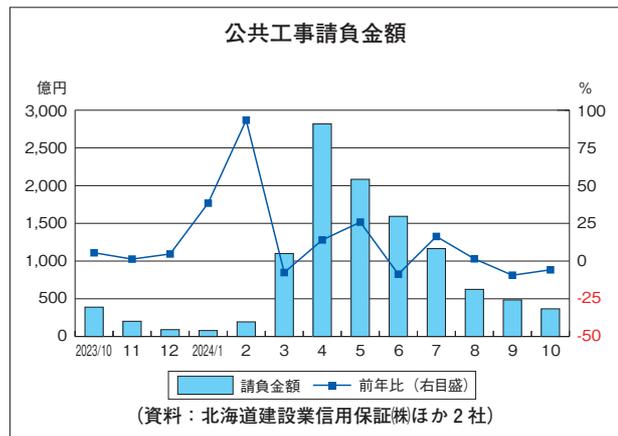
4～9月累計は、787,108㎡（同▲15.5%）と前年を下回った。業種別では、製造業（同▲52.1%）、非製造業（同▲4.3%）となった。



8. 公共投資～2か月連続で減少

10月の公共工事請負金額は、367億円（前年比▲5.8%）と2か月連続で前年を下回った。発注者別では、国（同+27.5%）、道（同+18.5%）は前年を上回ったが、独立行政法人等（同▲16.6%）、市町村（同▲1.3%）、その他（同▲94.3%）が前年を下回った。

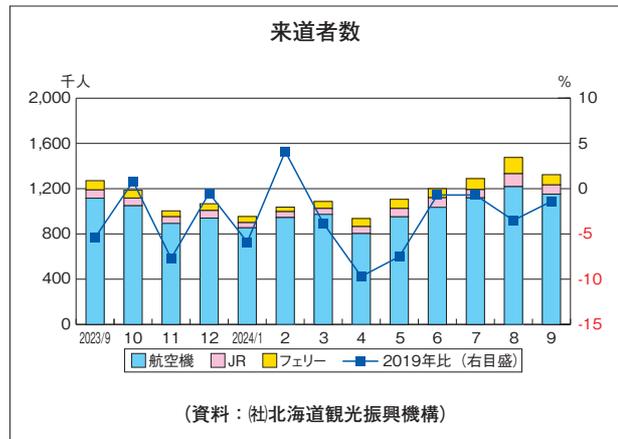
4～10月累計は、9,136億円（同+8.6%）と前年を上回った。



9. 来道者数～2か月連続で増加

9月の国内輸送機関利用による来道者数は、1,325千人（前年比+4.3%）と2か月連続で前年を上回った。コロナ禍前の2019年同月比では▲1.4%となった。輸送機関別では、航空機（前年比+3.2%）、JR（同+12.1%）、フェリー（同+11.2%）となった。

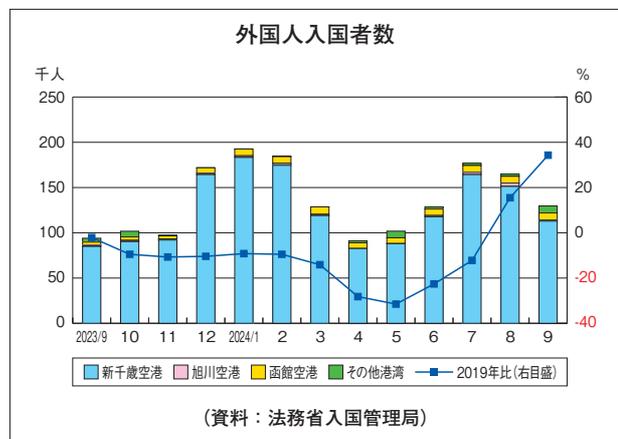
4～9月累計は、7,337千人（同+0.6%）と前年を上回ったが、2019年比では▲3.7%と下回った。



10. 外国人入国者数～27か月連続で増加、コロナ禍前を2か月連続で上回る

9月の道内空港・港湾への外国人入国者数は、128,994人（前年比+37.2%）と27か月連続で前年を上回った。2019年同月比では+34.3%とコロナ禍前を2か月連続で上回った。

4～9月累計は、792,411人（前年比+34.8%）と前年を上回ったが、2019年比では▲10.2%と下回った。



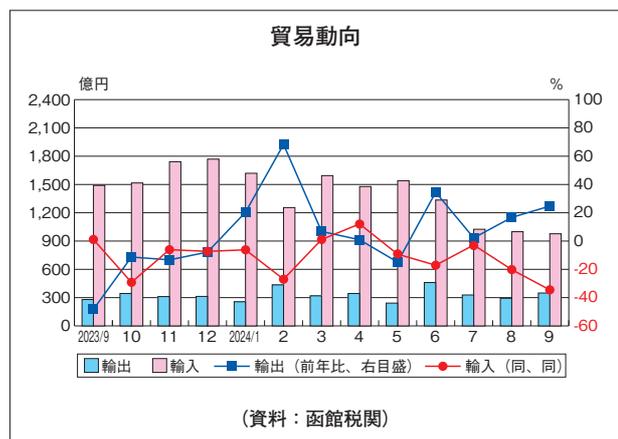
11. 貿易動向～輸出が4か月連続で増加

9月の貿易額は、輸出349億円（前年比+24.7%）、輸入が977億円（同▲34.5%）となった。

輸出は、動物性油脂、鉄鋼などが減少したものの、船舶、魚介類・同調整品などが増加した。

輸入は、石油製品、電気機器などが増加し、原油・粗油、米などが減少した。

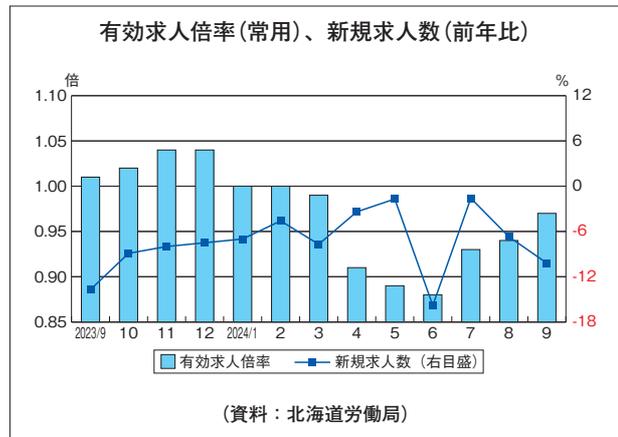
4～9月累計の輸出は、2,017億円（同+10.8%）と前年を上回った。



12. 雇用情勢～有効求人倍率が18か月連続で前年を下回る

9月の有効求人倍率（パートを含む常用）は、0.97倍（前年比▲0.04ポイント）と18か月連続で前年を下回った。

新規求人数は、前年比▲10.2%と19か月連続で前年を下回った。業種別では、医療・福祉（同▲7.2%）、サービス業（同▲16.8%）、卸売業・小売業（同▲11.4%）、建設業（同▲9.8%）、運輸業・郵便業（同▲19.5%）などが前年を下回った。

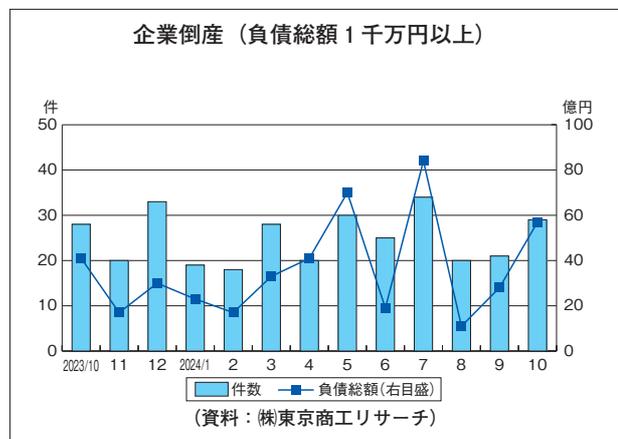


13. 倒産動向～倒産件数、負債総額ともに2か月連続で前年を上回る

10月の企業倒産件数は、29件（前年比+3.6%）であった。業種別ではサービス・他が9件、建設業が8件、小売業が5件、卸売業が3件などとなった。

販売不振を原因とした倒産が20件（69.0%）を占めた。新型コロナウイルス関連の倒産件数は15件であった。

倒産企業の負債総額は、57億円（前年比+39.0%）と2か月連続で前年を上回った。



14. 消費者物価指数～39か月連続で前年を上回る

9月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は、110.4（前月比▲0.2%）となった。前年比は+2.7%と39か月連続で前年を上回った。

石油製品の価格は調査基準日（10月10日）時点で、灯油価格が119.9円/ℓ（前月比+0.5%、前年同月比▲3.4%）、ガソリン価格が172.0円/ℓ（前月比▲0.6%、前年同月比+2.4%）であった。

